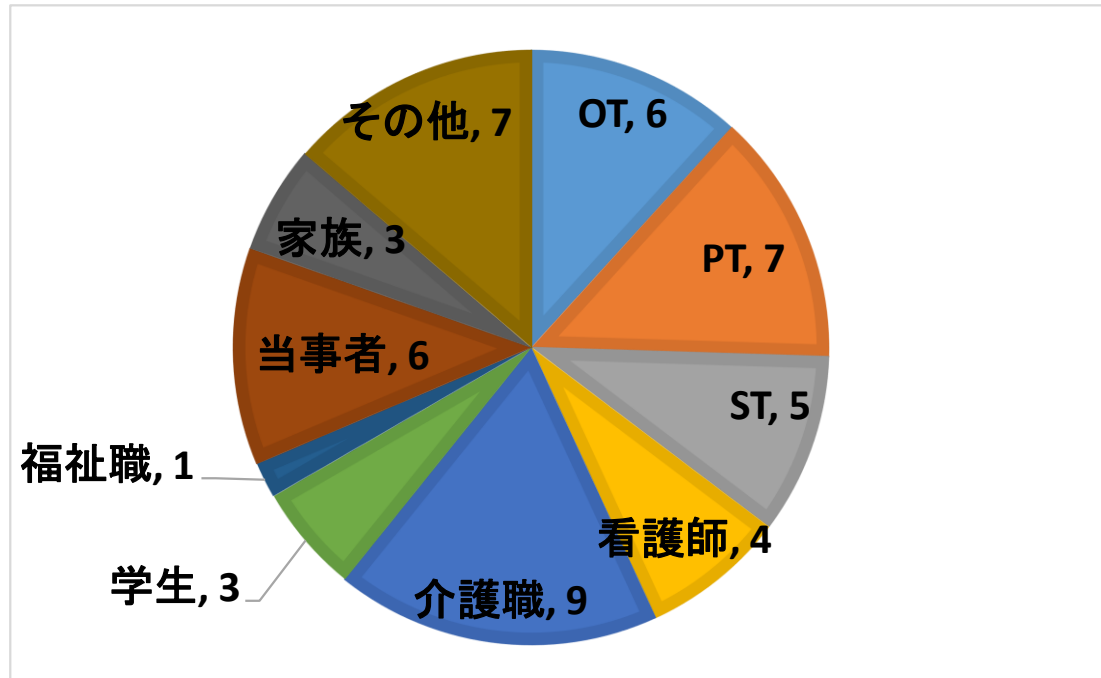
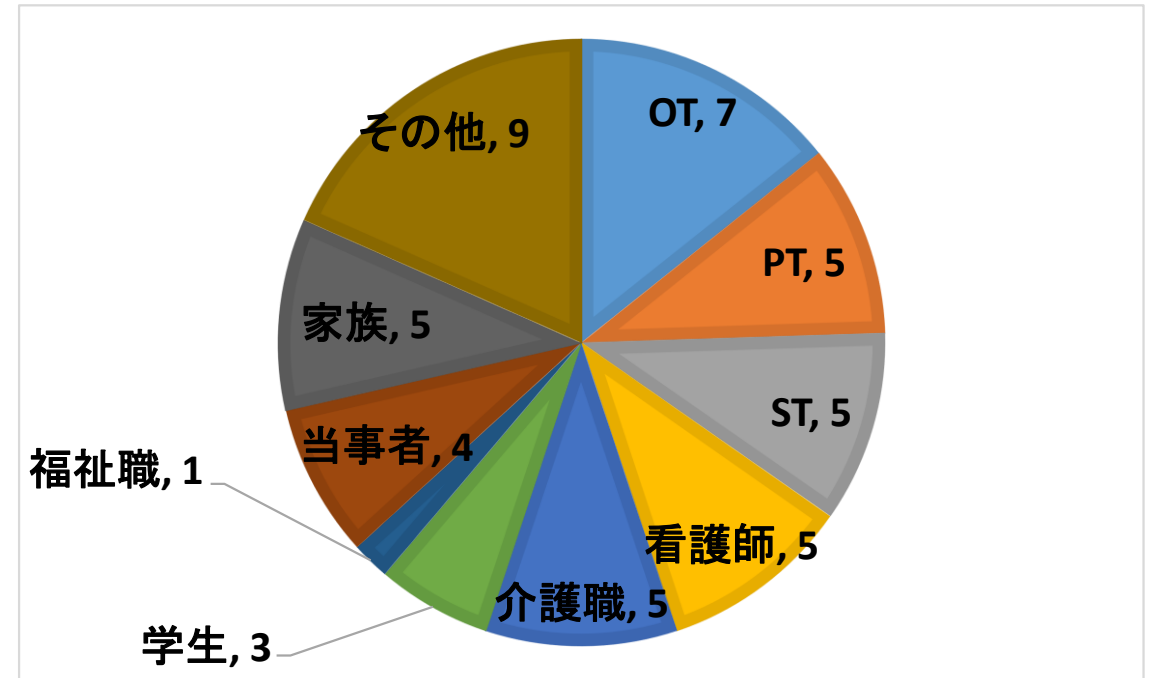


参加者数と職種

1日目 51名

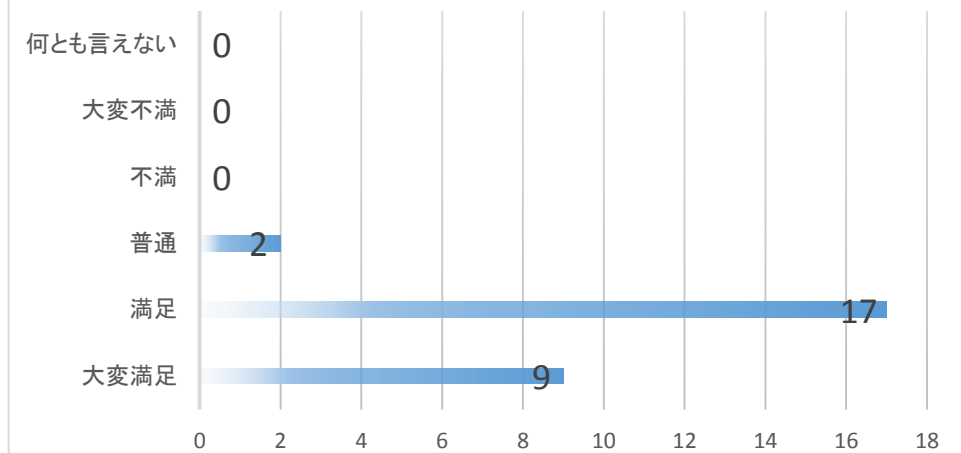


2日目 49名

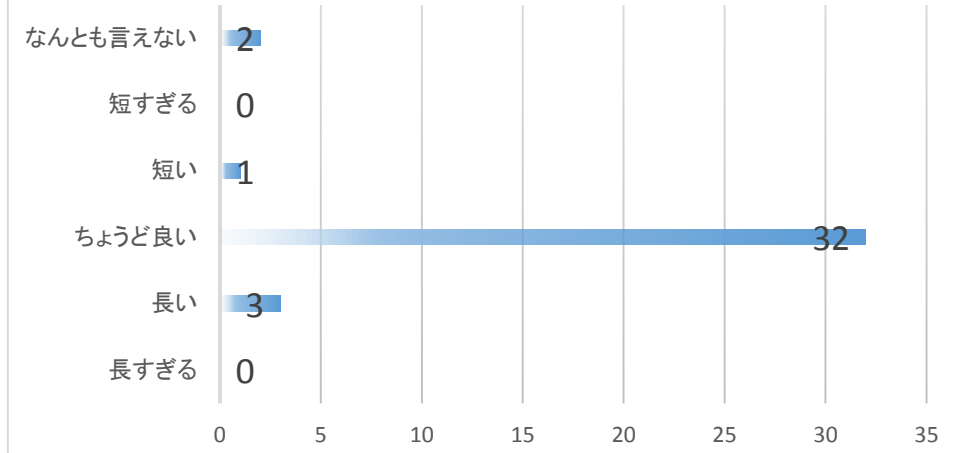


アンケート集約

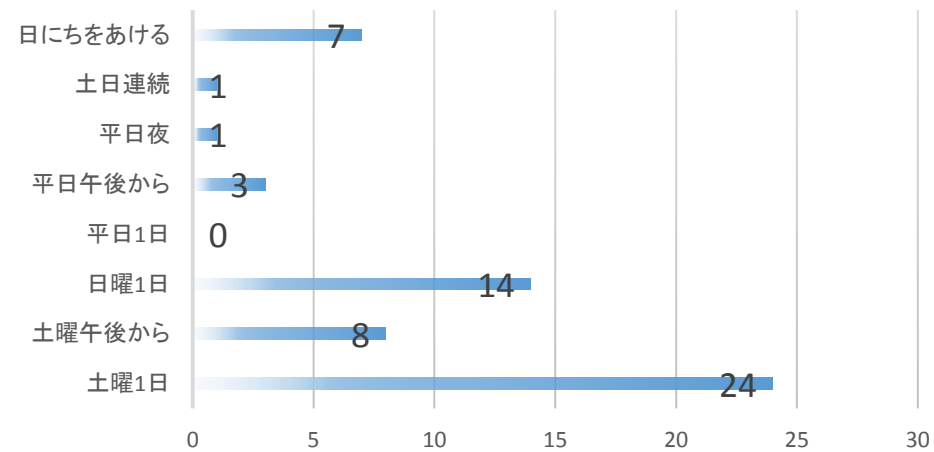
講座の全体的な評価



講座の時間について

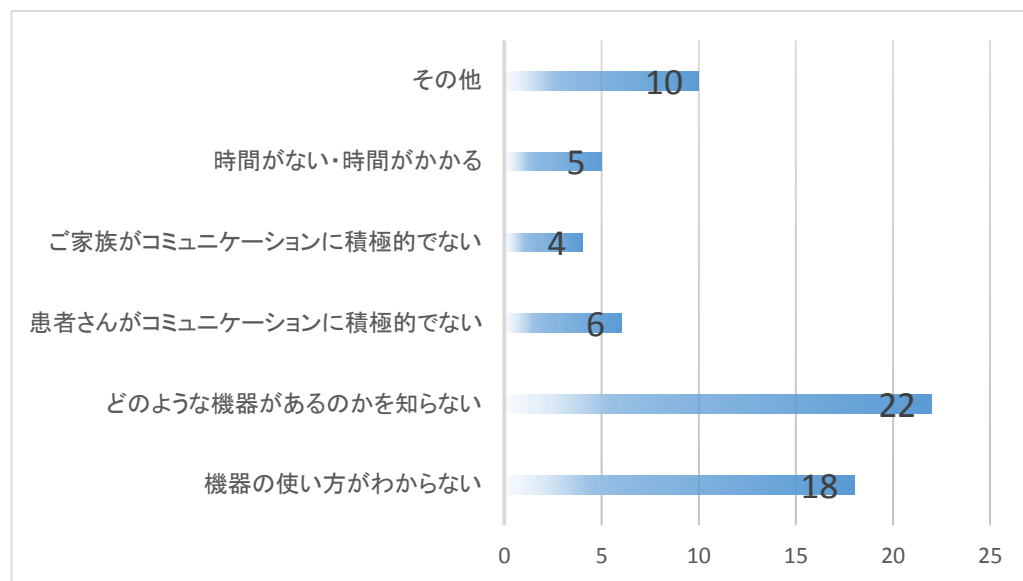


開催日の希望



アンケート集約

コミュニケーション機器の導入で、どのようなことに困っているか？



その他の具体的な内容

- ・知っている人が身近にいない
- ・ケア側がコミュニケーションに積極的でない
- ・専門的な支援につなげていく道筋、方法
- ・各種意思伝達装置の特徴やどれが向いているかなどがわからない
- ・これから学んでいきたい
- ・制度について
- ・それぞれメリット、デメリットがまだ把握できていない
- ・自作方法(スイッチ、呼出チャイム)
- ・患者さんに合った機械を選定すること
- ・機器を使うときにポジショニングがむずかしい

アンケート集約

1回目 受講しての感想、聞いたかったこと

受講者の中に患者さんがいるとは思わなくて、「これからコミュニケーションがとりづらくなる。」という事実を聞いて少し怖くなってしまいました。講座を通して患者さんがコミュニケーションを取る方法がたくさんあることを学びましたが、どれも患者さんと支援者の気合が必要で、患者さんにちゃんと向き合えないとできないことだと思いました。

文字盤の使用方法や導入の制度を確認できて勉強になりました。

いろいろなコミュニケーションの方法を知れて勉強になりました。

障害の方と直接会えて話せたことが勉強になりました。

様々なコミュニケーション機器についてまとまった情報を得ることができた。

様々なコミュニケーション機器とその特徴、制度や実体験など知らないことをたくさん聞いてよかったです。

文字盤の使用方法や、ポジショニング、支援機器の種類についてとても勉強になりました。

とても参考になることばかりでした。いろいろなツール導入までの手順を知れたらありがたいです。

機器の種類が多くあって驚いた。

より初心者にもわかるように内容をレベルダウンする講座を作って欲しい。「スイッチ」が既に当たり前に使われているが「スイッチ」と言うものがなぜ重要なのかと言う、本当に“そもそも”のところから話をおこすようなところからの内容が、今のような内容など段階があるとありがたいです。

竹田先生の医師である当事者の関係者へのお願い(メッセージ)をしっかり受け止めたいと思いました。

コミュニケーション方法もいろいろあることを知りました。すぐに身につけられることではないので練習していきたいと思います。

実際に患者さんからのお話を聞くことができたことがとても大きな事でした。文字盤は患者さん自身も大変な作業であることを体験できたことが良かったと思いました。講義を受けている最中にスタッフの方がお話をされており聞こえないところがあり困りました。

実習は初めて体験することであり、患者の目線にも立つことができ有意義だった。ランチョンセミナーは内容をもう少しまとめて欲しい。頭にほとんど入ってこなかった。参加者?スタッフ?私語がうるさい方がいた。私語をやめるようにスタッフ側からも注意してほしい。

伝の心の使い方を改めて確認できました。

ALSの方の生の声が聞けてよかったです。

文字盤を現役の看護師さんと実演できてとても勉強になった。リハビリの講演で拘縮改善の症例が良かった。

わかりやすくよかったです。

実際に文字盤や伝の心などを使用して使い方やコツを教わる事ができてよかったです。

コミュニケーションの大切さを再確認しました。

これから病気が進行すると、会話が口頭でできなくなる。その時になってからでなく、今準備しておけることを知りたい。

機器の説明や実際の体験などを知ることができ参考になりました。お話の中であったことを今後役立てたいと思います。文字盤が難しかったです。

ALSについて学ぶ、良い機会でした。

色々なコミュニケーションの方法があることが分かった。

制度や意思伝達装置の概要は知っていたが、より深く細かいところまで教えていただけて勉強になりました。

日頃仕事として様々な障害を持つ方と接しています。(障害福祉サービス「計画相談支援」)自分の思いを言葉にできない方々が多くいらっしゃいます。勝澤さんの「コミュニケーションとは?」との根底にあるもの、竹田先生の「受容まで何年もかかる」とても大事なことでした。また明日から仕事をしていく一番大事なものを忘れずにしていきます。

伝の心を患者の立場になってやる事が生まれて初めてできました。初期の人がこんなやってらんないと手を振る気持ちがよくわかりました。それでもやっているのですよね、当事者は

文字盤体験が大変勉強になりました。

患者さんの体験が聞けてよかったです。障害に向き合いながらも強く生きていらっしゃることに感動しました。

透明文字盤については繰り返し練習して上達していきたいと思いました。

当事者の方の体験やアドバイス、他職種の方のコミュニケーションに関する講義、実体験もできてとても有意義な1日でした。ありがとうございました。また来月もよろしくお願ひします。

私は介護のスタッフではなくほぼ一般の参加者です。ALSの友人が遠方におり、時々関東に旅行に来る際に私と会うので、その時に少しでも会話や意思伝達ができればと思っています。今日は基本的なことから様々な機器、当事者のお話リハビリの重要性について知ることができてよかったです。

神経難病患者に関わっているのて、コミュニケーションについて学べてよかった。患者さんこと本人のお話が聞けてとても貴重な機会となりました。ポジショニングも参考にさせていただきます。ありがとうございました

実際に文字盤や意思伝達装置の使い方を体験できたのは良かったと思います。
視線入力の講座は次回期待しています。

コミュニケーション支援について今後も考え学んでいきたいと思ひます

普段文字盤を使っていますが細かいところを見直す、復習する機会になりました。フリック式ばかりなので五十音でもコミュニケーションとってみようと思ひます。

実演もでき非常に勉強になった。

竹田主子さんの講義を聞いたかった。
文字盤や口文字の実習、情報伝達機器類の説明など
機器を使用したことがなかったのて実際に使用できてよかったです。

実際にALSの方が文字盤や口文字をやり、話をしているかのようにコミュニケーションが取れているのを見ることができ感動しました。文字盤への苦手意識がありました
が積極的に取り組み、うまく使えるようなセラピストになりたいと思ひました。

意思伝達装置の体験ができてよかった。文字盤使用のガイドがもらえてよかった。

当事者／患者さんが社会に対し望んでいること、1番したい事。

アンケート集約

1回目 事例検討で話し合いたいこと、相談したいこと

● 機器導入前、構音障害で聞き取りにくい時期

機器導入前で構音障害の患者さん 聞き取りにくい際にどのように対応すべきか?何回も聞き返すのは忍びないです。

(MSAやPP)障害により構音障害などで会話のやりとりが難しい方がいます。本人は“何度でも聞いてください”と繰り返し言うてくださいますが、なかなか聞き取れず申し訳なく思ってしまう。書字や文字盤で一部やりとりもすることができますが、今後難しくなることを考えると支援ツールをどのようなタイミングで入れればよいでしょうか?(紹介や進めることにより本人がショックを受けないかも気になっています)

60代多系統萎縮症の方で構音障害のある方に対してコミュニケーションツールの提案をしていますが、話すことが好きであり、まだ口頭でのコミュニケーションが取れているため、文字盤などは拒否的で受け入れが良くないです。家族も聞き取れない時は諦めてしまうこともあるので、何か手段を考えたいと思っています。導入がうまくいかない方に対してどう関わったらよいでしょうか (作業療法士)

患者が言っていることが1度でわからなかった時、顔の表情でしか表現できないので、すごく嫌な顔されて怖い。のでつらい。今文字盤を指さしてコミュニケーションをとっているが、早すぎてわからないことがある

● 導入について

ドクターから早めにコミュニケーションの探索をするように指示されていますが、患者様本人が障害受容できておらず、訓練を開始するとお話しできなくなると宣告するようで、なかなかタイミングが分かりません。

コミュニケーション機器の導入する時期について

まだ呼吸器をつけていない方ですが、この1年間で発声ができなくなってきました。伝の心や文字盤も振り払う感じで、心配しています。発症前はパソコンも堪能だったと聞いています。家族の問題、人生観等あるとは思いますが、コミュニケーション機器のことを広く、やわらかく、考えていけるようになってもらうために周囲でできる事はないでしょうか

AAC導入でよくある困難事例やその解決方法(裏技?)が、知りたい

● 進行への対応

疾患の進行具合に応じたコミュニケーションの選択とタイミングの見極め方
次の段階に向けて、今できる練習としてその進行の段階で何をするかを知りたい

参加できないのですが患者さんがなかなかスイッチの変更を受け入れられない時が時々あり、ケア側の困っている事と患者さんの気持ちを両方考えると判断がつかないことが多いです。

● 文字盤について

文字盤コミュニケーションの練習等についてももう少し取り組みたいです。

文字盤でコミュニケーションをとっているALSの患者さんがいます。以前に比べて「瞬きができない」、「眼球運動が分かりづらい」といった問題が出てきて、読み取りに時間がかかるようになりました。どのような工夫を実践していけば良いのか教えていただきたいです。

現在勉強中ですが...文字盤の読み取りが難しく、途中で患者さんから叱られたことが過去にありました。練習あるのみと思いますが、相手を探すことが大変(同僚へ依頼しましたが、興味がなかったようです)でした。このような研修を通じ、支え合える仲間づくりができたらと思いました。

● 個別相談

ALSの方を担当しています。少しずつ声の発音が難しくなっていますので、コミュニケーションを検討しています。介助者であるご家族様の認知の低下が顕著に見られ、意思伝達装置や文字盤の導入、ご家族様でも簡単にできるツールの紹介があればと思います。(理学療法士)

認知症のある難病患者とのコミュニケーションのやりとりに困っています。

訪問看護師をしています。ALS球麻痺の方で発症から約1年経ちました。パーキンソン、多系統萎縮症の方は多いのですがALSを事業所内であまり担当したことがなく、球麻痺であることから要支援状態のため、ケアマネもない、誰に相談したら良いか、患者さんだけでなく担当者も必死で勉強しています。このような勉強会への参加のほか、どういうところから知識を増やしていけばよいでしょうか。

吸引器について、事業所で相談したらレンタルで十分と言われたが、助成がお礼ることがわかったのでその申請をした。もし教えてもらえなければ月々の負担になるところであった。(訪問看護師)

視線入力をするのにポジショニングを取らせるのが面倒になりなかなか時間が取れません。パソコンだとインターネットにつながってしまうので、子供1人でやらせるのは難しく、隣に一緒にいないとやらせることができません(19歳脳性麻痺)。子供1人で、視線で安心してやらせられるゲーム、アプリなどはありますか？

文字入力も組みたいのですが、安価なソフトで簡単に流力できるものはありますか？

これと言うものに出会いません。miyasukuキーボードをメモ帳と組み合わせてやってみたのですが、入力した文字を見るとそこにカーソルが移動してしまい、うまく文字がつながりません。

iPadはiPadタッチャーをつないでワンスイッチで遊べるアプリ、いいものがあれば教えて欲しいです。

パンフレットにある視線入力に興味があります。

トーキングエイドのiPadを指でタッチして入力しているALS患者さんが、タッチできなくなったら次のコミュニケーション方法は何を提案していくものか
視力低下で見えづらくなった人(文字盤)に次のコミュニケーション方法は？

田村みち子(在宅介護)

● コミュニケーション以外

竹田先生や受講者の方で、信頼できない医師や看護師を嫌なら交替すべきと話されていたが、ヘルパー、訪問看護事業所をコロコロと変更して、入る事業所がありません。ヘルパー、訪看、訪問医とうまく長くお付き合いする方法があれば教えてください。また、ヘルパー、重訪を探すのが大変で東京に引っ越した人がいました。ヘルパーが辞めない仕組み作りをお願いします。

当人は四国の田舎で暮らしているので支援をどう得ていけるのか。都会ではなく地方でどういう社会資源が有効か知りたい。

当人話せなくなった時どう本人のモチベーションを良い方向へ持ち続けられるか。そのために具体的に何をしていくか、本人、家族、どうしてきたか知りたい。

事例検討にはなりませんが

仕事上多くの重度障害者と呼ばれる方々と接していました。ちょっと愕然としています。こういう支援にご本人も家族も...つながっていないことに...自分自身呆然としています。

特に施設に入っている方々などスタッフの方々も多忙で...このようなコミュニケーション支援を受けていること、これから導入していくことが遠くて...

またヘルパーの不足で電話かけ回っていますが「穴」が空いている状況です

車椅子からトイレへの移乗、トイレから車椅子への移乗の際に本人の負担を少なくするにはどうすれば良いか
胃ろうからの食事になっているが嚥下機能が少し残っている場合に、食事の楽しみを教えるために経口よりどんなものを食べさせてあげることができるのか？
嚥下機能が弱まって喀痰が口に溜まりやすくなっている場合は、どのようにすれば良いか？口にティッシュを含むことで、吸っているが、他に良い方法があるか？
重度訪問看護についての制度について教えて欲しいです。どんな〇〇が必要か？何をできるか？費用は？制度はあるのか？

どういったボランティアがあるのかできるのか。当事者の方に直接聞いてみた方が良いのかもしれませんが。

当事者/患者さんが社会に対し望んでいる事1番したいこと

● ネットワーク

こういった講座を初めて受講しました。様々な方たちがいらっしゃって、出会える機会がもっとあるといいなと思いました。一緒に受講するだけでなく、もう少し関わられるような活動があればと思いました。

アンケート集約

2回目 役に立った内容、役に立たなかった内容、もっと詳しく知りたい内容

体がつらいので、2時間くらいが限度になります。単発の講習会(iPad他)に参加したいです。

役に立ったこと:1回目、2回目ともに、患者になって聴きの操作の体験を得られたこと。どれだけやるせないかを感じられました。どんどん機器やスイッチは改良されてきているけれど、地方にはなかなか及んでいないこと、それをどうして入ったら良いか…地方から(静岡県で)参加したいOTとかヘルパーさんがいると思います。

iPadの使い方、可能性を教えてください勉強になりました。コミュニケーションはもちろんですが、簡単で楽しめるゲーム(少ない操作で)などもあれば知りたいです。

透明文字盤1つでも、色々なバリエーションがあるのだなと感じました。コミュニケーション支援の方法について、多様な可能性があるのだと思いました。

事例検討で、まだ話せる相手に対してのプロセスが大事で、先の事を心配するのではなく、先に繋げることが、今できることで、それが結果になるんだと、とても参考になりました。

持っている情報が少ないので、聞くこと、体験すること全てとても役に立ちました。

オレンジ色のTシャツの方々の動き、発言、おひとがらにとてもひかれました。私もまた、仕事、がんばります！と。特に勝沢さんはお見事！！勝沢さんの進行の時間、何だかほろり！としてしまいました。

意思伝達装置について、「どういう疾患・症状・状態の方にはどの機種が適しているか？」また、「こういう状態の方には、こういうふうカスタマイズすると使いやすい」といった代表例があれば知りたいです。

コミュニケーション機器のことを色々知れてよかった。今後も講習会等があれば参加したいので、開催が決まったらホームページやツイッターに情報をあげてほしいです。

全ての情報がとても参考になりました。今回の視線入力のデモがじっくりできたので、良さが分かりましたし、患者さんにも「あるらしい」ではなく、ちゃんと説明できると思いました。

他職種の方々から、これまでの事例について聞くことができ、良かった。自分にはない視点に気づくことができた。他職種の方の事例はこれからも知りたいし、意見が聞ける環境があるとありがたい。

全部とても役に立ちました。各ブースに分かれて説明を受けながら、体験できたこととても貴重でした。本当に2日間ありがとうございました。

重度障害のコミュニケーションの知識がとても役に立ちました。もっと勉強していきたいです。

視線入力やスイッチの種類など、実際に体験できて良かったです。その人に合ったものが必ず見つかるし、見つけられるんだということが、知ることができ、より興味を持ちました。

・スイッチの種類 ・文字盤のバリエーション ・TLSの方との関わり方

コミュニケーションツールの多さ、実際、触ってみて初めてわかることも多く、参加して良かったです。何度も参加してもためになるようなお話、ありがとうございました。

・役に立った内容→全て ・役に立たなかった内容→なし ・もっと詳しく知りたい内容→口文字

機械ではなく機会という言葉、障害を持つ人が機械によって便利になったというより、まわりの人たちが障害を持つ人のことを理解しやすくなったという考えが印象に残りました。

iPadのアクセシビリティについて、詳しい資料をいただいたので、自宅で読み込んで勉強しようと思います。

現場の話が聞け、さらにデモを見ることができて、とても充実していた。勉強になりました。

コミュニケーションツールの体験、事例検討

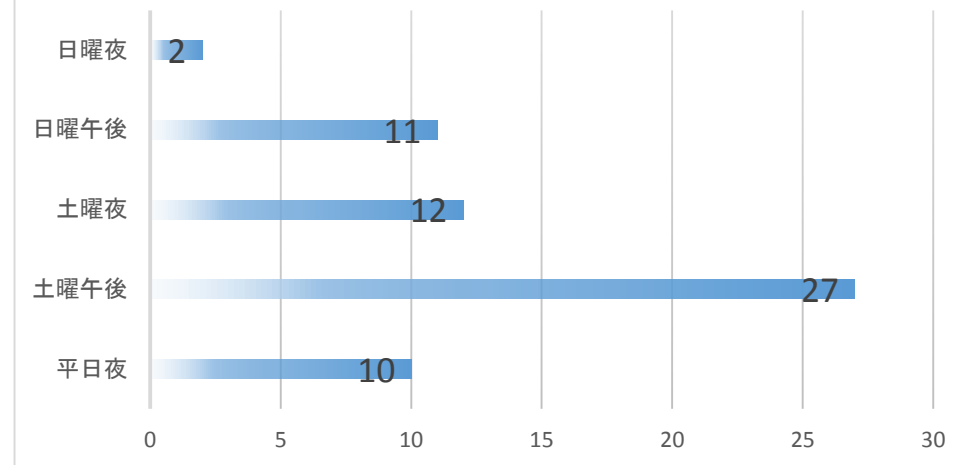
・色々なスイッチを使えた ・視線入力の体験 ・色々なコミュニケーション機の説明、操作体験 ・今後のコミュニケーション方法の検討に参考になりました。

iPhoneのスイッチ利用

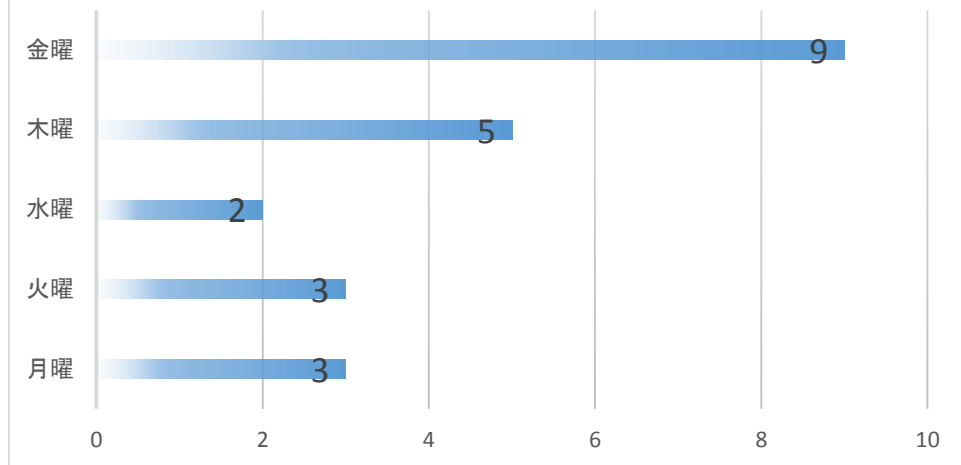
iPadを利用したコミュニケーション 視線入力

ミニ勉強会の開催について

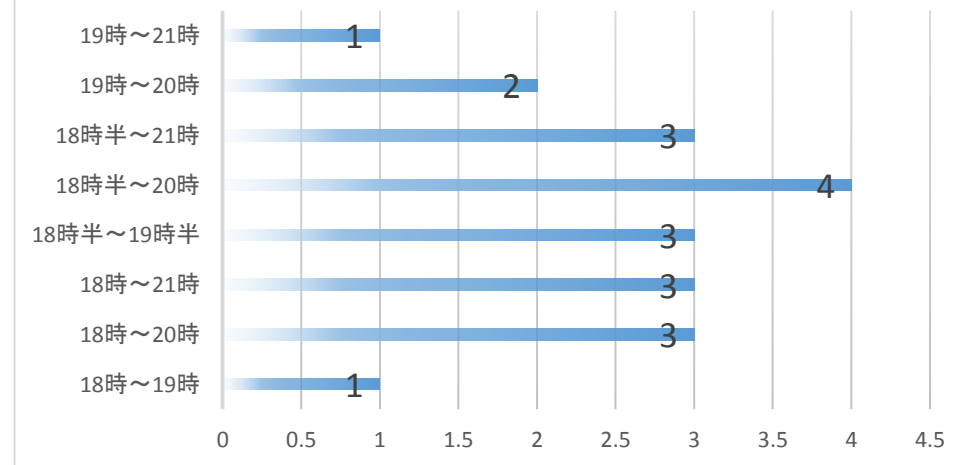
ミニ勉強会の参加しやすい日にち



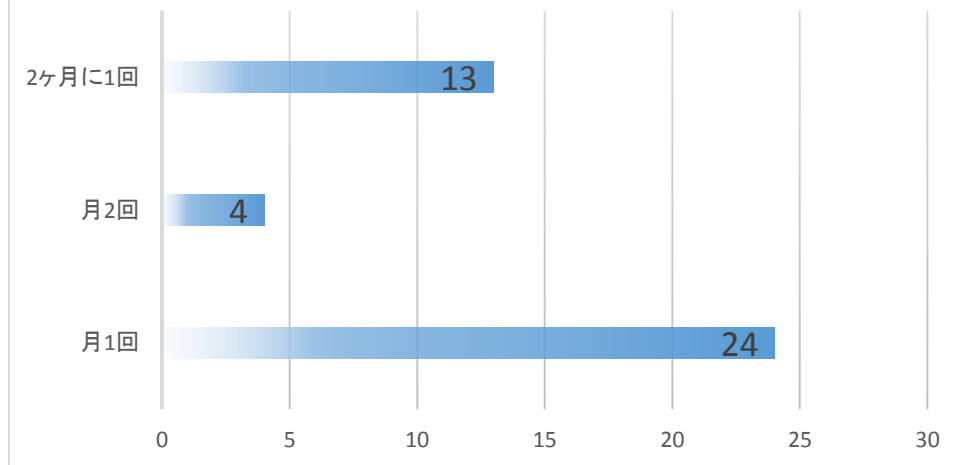
平日で参加しやすい曜日



平日で参加しやすい時間帯



参加しやすい頻度



ミニ勉強会で取り上げてほしい内容

福祉機器の紹介、体験

体験(視線入力、文字盤など)

文字盤やコミュニケーションボードの作成(一緒に作る)

事例報告

症例というか事例の紹介

障害でレンタルした事例→平成30年4月から施行の補装具の借受け

失語症の方の支援

車椅子等より移乗する際のコツ(トイレの便座へ本人をうまく座らせる方法)

口の筋力が弱まり開口しづらくなっている時の口腔ケアについて